

[Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)
[First Hit](#)



Generate Collection

L2: Entry 296 of 305

File: JPAB

Jul 26, 2002

PUB-NO: JP02002207415A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002207415 A

TITLE: SERVER MACHINE FOR MAKING INTERNET ANSWER AND PRACTICE, INFORMATION DISPLAY
METHOD FOR SERVER MACHINE AND MEMORY MEDIUM

PUBN-DATE: July 26, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MASABAYASHI, MASAYUKI

HIRAYAMA, TARO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MASABAYASHI MASAYUKI

HIRAYAMA TARO

APPL-NO: JP2001004445

APPL-DATE: January 12, 2001

INT-CL (IPC): G09 B 5/08; G06 F 17/60

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a server machine which can broadly provide terminal mechanism with data on information on various corrections to answers, an information display method for the same and an external memory medium which is freely attachable and detachable to and from the server machine.

SOLUTION: This server machine has simultaneous question transmittability for transmitting the data of the information on the questions in carrying out an Internet answer and practice class for correcting and returning the answers replying to the prescribed questions by using the Internet, simultaneous answer receivability for receiving the data on the information transmitted from the terminal machines on plural student sides and simultaneous answer transmittability for transmitting the data of the information to the terminal machines on the communication connected plural corrector sides. The machine further has discrete answer transmittability by each corrector for selectively transmitting the answer to the correctors assigned by the students.

COPYRIGHT: (C)2002, JPO

[Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-207415

(P2002-207415A)

(43) 公開日 平成14年7月26日 (2002.7.26)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード* (参考)
G 0 9 B 5/08		G 0 9 B 5/08	2 C 0 2 8
G 0 6 F 17/60	1 2 8	G 0 6 F 17/60	1 2 8

審査請求 未請求 請求項の数9 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号 特願2001-4445(P2001-4445)

(22) 出願日 平成13年1月12日 (2001.1.12)

(71) 出願人 300092334

正林 真之

東京都豊島区南池袋3丁目18番34-604号

(71) 出願人 501018010

平山 太郎

東京都新宿区下落合1丁目6番9号 株式

会社 東京リーガルマインド内

(72) 発明者 正林 真之

東京都豊島区南池袋3丁目18番34号 池袋

シティハイツ604号室

(74) 代理人 100106002

弁理士 正林 真之

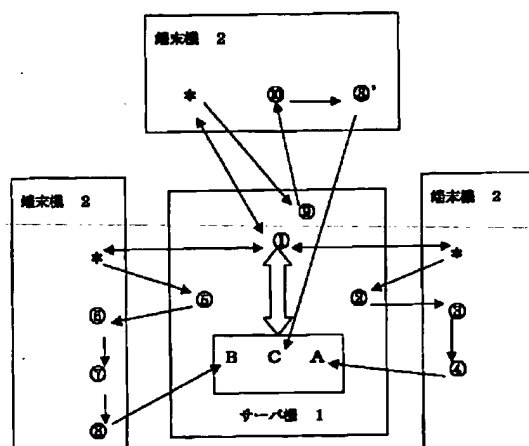
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 インターネット答練を行うためのサーバ機、サーバ機の情報表示方法、及び記憶媒体

(57) 【要約】

【課題】 回答に対する様々な添削に関する情報のデータを幅広く端末機に提供することが可能なサーバ機、その情報表示方法、及びサーバ機に着脱自在な外部記憶媒体を提供する。

【解決手段】 インターネットを使用して所定の設問に対して回答をした答案について添削をして返却するインターネット答案練習会を行うにあたって、設問に関する情報のデータを送信させる設問一括送信能と、複数の受講生側の端末機から発信された情報のデータを受信する回答一括受信能と、通信接続された複数の添削者側の端末機に情報のデータを送信させる回答一括送信能と、を備え、更に、受講生に指定された添削者に対して選択的に回答を送信する添削者別・回答個別送信能を備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定の設問に対して回答をした答案について添削をして返却するインターネット答案練習会を行うにあたって、答案の添削を望む複数の受講生と複数の添削者との間を媒介するサーバ機であって、

このサーバ機は、複数の端末機の各々と個別に通信接続が可能に設けられ、該通信接続された端末機にその表示画面に表示させる所定の情報に関するデータを送信するものであり、

通信接続された前記複数の受講生側のそれぞれの端末機に向かって前記所定の設問に関する情報のデータをそれぞれ送信させる設問一括送信能と、前記複数の受講生側のそれぞれの端末機から発信された前記所定の設問の回答に関する情報のデータを受信する回答一括受信能と、通信接続された前記複数の添削者側のそれぞれの端末機に前記所定の設問の回答に関する情報のデータを送信させる回答一括送信能と、を備え、更に、受講生に指定された添削者に対して選択的に回答を送信する添削者別・回答個別送信能を備えることを特徴とするサーバ機。

【請求項2】 所定の設問に対して回答をした答案について添削をして返却するインターネット答案練習会を行うにあたって、答案の添削を望む複数の受講生と複数の添削者との間を媒介するサーバ機であって、

このサーバ機は、複数の端末機の各々と個別に通信接続が可能に設けられ、該通信接続された端末機にその表示画面に表示させる所定の情報に関するデータを送信するものであり、

通信接続された前記複数の受講生側のそれぞれの端末機に所定の設問に関する情報のデータを送信させ、当該通信接続された複数の受講生側のそれぞれの端末機から前記所定の設問の回答に関する情報のデータを受信させる一方、通信接続された前記複数の添削者側のそれぞれの複数の端末機に前記所定の設問の回答に関する情報のデータを送信させ、当該通信接続された前記複数の添削者側のそれぞれの複数の端末機から前記回答に対する添削に関する情報のデータを受信させ、通信接続された複数の受講生側のそれぞれの端末機からの要求に応じて、当該複数の受講生側のそれぞれの端末機へ前記所定の設問の回答に対する添削に関する情報のデータを送信させる制御部を備えたことを特徴とするサーバ機。

【請求項3】 前記制御部は、受信した前記所定の設問の回答に関する情報、又は受信した前記回答に対する添削に関する情報の各々に対する内容の評価に関する情報のデータを、通信接続された前記複数の受講生側のそれぞれの端末機から受信させ、当該受信させた内容の評価の累積結果に関する情報のデータを、通信接続された前記受講生側のそれぞれの端末機の要求に応じて送信させることを特徴とする請求項2に記載のサーバ機。

【請求項4】 前記制御部は、前記回答に関する情報又は前記添削に関する情報のうち、所望の情報の送信元で

ある添削者側の端末機を指定した情報のデータを前記複数の受講生側のそれぞれの複数の端末機の各々から受信させ、新たな設問又は新たな回答に関する情報のデータを前記指定した添削者側の端末機へ送信させ、当該指定した添削者側の端末機から前記新たな設問の回答又は前記新たな回答に対する添削に関する情報のデータを受信させ、当該受信した情報のデータを前記複数の受講生側のそれぞれの端末機の要求に応じて当該要求した受講生側の端末機へ送信させることを特徴とする請求項2に記載のサーバ機。

【請求項5】 インターネットを使用して所定の設問に対して回答をした答案について添削をして返却するインターネット答案練習会を行うにあたって、答案の添削を望む複数の受講生と複数の添削者との間を媒介するサーバ機を用い、複数の受講生側および添削者側の端末機の各々と個別に通信接続を行い、該複数の受講生側および添削者側の端末機のうち通信接続された受講生側および添削者側の端末機の表示画面に所定の情報を表示させるサーバ機の情報表示方法であって、

通信接続された前記受講生側の端末機の表示画面に、所定の設問に関する情報を表示させ、該所定の設問の回答を入力すること、及びこの入力した回答をサーバ機に送信することを、順に又は同時に当該通信接続された端末機のユーザーに促す情報を表示させる第1のステップと、

通信接続された各前記複数の添削者側の端末機の表示画面に、前記所定の設問の回答に関する情報を表示させ、前記回答に対する添削を入力すること、及びこの入力した添削をサーバ機に送信することを、順に又は同時に当該各複数の端末機のユーザーに促す情報を表示させる第2のステップと、

通信接続された各前記複数の受講生側の端末機の表示画面に、前記所定の設問の回答に対する添削に関する情報を表示させる第3のステップとを備えたことを特徴とするサーバ機の情報表示方法。

【請求項6】 通信接続された各前記複数の受講生側の端末機の表示画面に、前記所定の設問の回答又は該回答に対する添削に対する内容の評価の入力を促す情報の表示を行う一方、通信接続された各前記複数の端末機の要求に応じて前記内容の評価の累積結果に関する情報を表示させることを特徴とする請求項5に記載のサーバ機の情報表示方法。

【請求項7】 通信接続された各前記複数の受講生側及び／または添削者側の端末機の表示画面に、前記第1のステップ乃至第3のステップのうち、いずれのステップにおける情報の表示を希望とするかを、当該端末機のユーザーに選択させる情報を表示させることを特徴とする請求項5又は請求項6に記載のサーバ機の情報表示方法。

【請求項8】 通信接続された各前記複数の受講生側及

び／または添削者側の端末機の表示画面に、前記回答に関する情報又は前記添削に関する情報のうち、所望の情報の送信元である端末機の指定を促す情報を表示させるステップと、新たな設問の回答又は新たな回答に対する添削に関する情報の入力促す情報を表示させるステップと、前記指定した端末機からの新たな設問の回答又は新たな回答に対する添削に関する情報の要求を促す情報を表示させるステップと、当該新たな設問の回答又は新たな回答に対する添削に関する情報を表示させるステップとを備えたことを特徴とする請求項5乃至請求項7のいずれかに記載のサーバ機の情報表示方法。

【請求項9】 インターネットを使用して所定の設問に対して回答をした答案について添削をして返却するインターネット答案練習会を行うにあたって複数の端末機の各々と個別に通信接続し、答案の添削を望む複数の受講生と複数の添削者との間を媒介するサーバ機に着脱自在に設けられた外部記憶媒体であって、通信接続された複数の受講生側のそれぞれの端末機に所定の設問に関する情報のデータを送信させる一方、当該通信接続された複数の受講生側のそれぞれの端末機から受信した前記所定の設問の回答に関する情報のデータを通信接続された複数の添削者側のそれぞれの端末機に送信させることが可能であり、当該通信接続された複数の添削者側のそれぞれの端末機から受信した前記回答に対する添削に関する情報のデータを通信接続された前記複数の受講生側のそれぞれの端末機に送信させるプログラムを格納したことを特徴とする外部記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、複数の端末機の各々と個別に通信接続し、端末機に所定の情報に関するデータを送信するサーバ機、その情報表示方法、及びサーバ機に着脱自在な外部記憶媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】近年の不況により、新規採用や転職に有利となる資格取得を目指す人が増加している。合格率の非常に低い取得の困難な資格を取得するには、数多くの事項を記憶し過去の設問などかなりの設問数をこなす必要がある。そして、資格によっては、マークシートなどの択一設問以外に、論文設問が出題されるものがある。この論文設問では、回答者の独自性が表現されやすく個人の能力を判断しやすいというメリットがある一方、その回答に対する評価の基準が非常に判断しづらく、論文設問を解く回答者は自身の回答の評価がどの程度なのか判断に迷うことが多い。このため、専門学校の講座を受講したり模擬試験などを数多く受けて、自身の回答に対する評価がどの程度かを添削内容で確認している。

【0003】そして、専門学校側は、生徒自身の回答に対して添削を行いその結果を提供するとともに、専門学校側が良い評価であると判断した具体的な回答論文を提

供したり、設問内容と良いと評価される回答論文とを掲載した参考書やレジメなどを提供している。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、専門学校側が生徒側に提供している添削結果は、過去の事例などを参考にしているものの専門学校側が一方向的に良い評価であると判断したものであり、その評価方法が完全であるか疑問なところもあり、また、評価される回答論文や添削結果を掲載した参考書やレジメなどを提供するにしても、掲載する例題数、回答数や添削数にも限界があるとともに、日々変化する出題傾向や評価傾向に対してタイムリーにそのときどきに合った情報を生徒側に提供することが非常に困難である。さらに、専門学校などが存在しない地域に在住しており、資格取得に必要な情報を入手するには非常に不利な人の中にも非常に素晴らしい回答をする人や、既に資格を取得し回答に対する的確な添削を行うことが可能な人が存在すると思われるが、これらの人たちの回答内容や添削内容を幅広く生徒たちに紹介することは上記のようなシステムでは事実上不可能な状況にある。

【0005】一方、近年、インターネットなど通信技術が発達しており、ユーザーが家庭にいながらにしてパソコン機などの端末機を用いて、インターネットを介して所定のサイトを管理するサーバ機に通信接続し、端末機を入力操作することにより、表示画面に必要な情報を表示させることが可能となっており、入手する情報の幅も非常に広がっているという技術的背景が存在するが、上記のような状況に対する手段としてこのような通信技術を用いたシステムは存在せず、タイムリーに必要な情報を生徒側に提供することが可能なシステムの提供が要望されている。

【0006】本発明は、上記のような課題を解決することにより、回答に対する様々な添削に関する情報のデータを幅広く端末機に提供することが可能なサーバ機、その情報表示方法、及びサーバ機に着脱自在な外部記憶媒体を提供することを課題とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、インターネットを使用して所定の設問に対して回答をした答案について添削をして返却するインターネット答案練習会を行うにあたって、答案の添削を望む複数の受講生と複数の添削者との間を媒介し、所定の設問に対する数多くの回答例を通信接続した受講生や添削者の端末機にタイムリーに提供することが可能であるとともに、所定の設問に対する一つの回答を題材に、通信接続された複数の添削者の端末機から数多くの添削内容を集めて、これを必要とする複数の受講生に端末機を介してタイムリーに紹介することが可能であり、添削内容に加えてその評価を集計してこれを受講生に紹介したり、あるいは受講生の指定した添削者に対して新たに設問の回答に対する添削の依

頼を媒介することを目的としており、上記課題を解決するため、以下のような手段を採用している。

【0008】第1の発明は、インターネットを使用して所定の設問に対して回答をした答案について添削をして返却するインターネット答案練習会を行うにあたって、答案の添削を望む複数の受講生と複数の添削者との間を媒介するサーバ機であって、このサーバ機は、複数の端末機の各々と個別に通信接続が可能に設けられ、該通信接続された端末機にその表示画面に表示させる所定の情報に関するデータを送信するものであり、通信接続された前記複数の受講生側のそれぞれの端末機に向かって前記所定の設問に関する情報のデータをそれぞれ送信させる設問一括送信能と、前記複数の受講生側のそれぞれの端末機から発信された前記所定の設問の回答に関する情報のデータを受信する回答一括受信能と、通信接続された前記複数の添削者側のそれぞれの端末機に前記所定の設問の回答に関する情報のデータを送信させる回答一括送信能と、を備え、更に、受講生に指定された添削者に対して選択的に回答を送信する添削者別・回答個別送信能を備えることを特徴とする。

【0009】第1の発明によれば、複数の受講生側のそれぞれの端末機に向かって所定の設問に関する情報のデータをそれぞれ送信させることが可能であり、複数の添削者側のそれぞれの端末機に所定の設問の回答に関する情報のデータを送信させることが可能であるとともに、受講生に指定された添削者に対して選択的に回答を送信することも可能であるので、受講生に対してそのときどきに必要とする情報のデータ、とりわけ添削者の指定により受講生の希望に極力見合った必要とする情報のデータを選択的に提供することが可能となる。

【0010】上記発明における回答は、受講生が作成した答案であり、講師が用意した答えである解答とは異なる。また、インターネット答練とはインターネットを使用することによって、複数の受講生と複数の添削者との間での設問配布、答案送付、答案添削手続等がスムーズに行われるようにするためのシステムである。

【0011】第2の発明は、インターネットを使用して所定の設問に対して回答をした答案について添削をして返却するインターネット答案練習会を行うにあたって、答案の添削を望む複数の受講生と複数の添削者との間を媒介するサーバ機であって、このサーバ機は、複数の端末機の各々と個別に通信接続が可能に設けられ、該通信接続された端末機にその表示画面に表示させる所定の情報に関するデータを送信するものであり、通信接続された前記複数の受講生側のそれぞれの端末機に所定の設問に関する情報のデータを送信させ、当該通信接続された複数の受講生側のそれぞれの端末機から前記所定の設問の回答に関する情報のデータを受信させる一方、通信接続された前記複数の添削者側のそれぞれの複数の端末機に前記所定の設問の回答に関する情報のデータを送信さ

せ、当該通信接続された前記複数の添削者側のそれぞれの複数の端末機から前記回答に対する添削に関する情報のデータを受信させ、通信接続された複数の受講生側のそれぞれの端末機からの要求に応じて、当該複数の受講生側のそれぞれの端末機へ前記所定の設問の回答に対する添削に関する情報のデータを送信させる制御部を備えたことを特徴とする。

【0012】第2の発明によれば、一つの回答に対する複数の添削結果の各々における内容の評価を通信接続した複数の受講生側の端末機から受信することにより、上記内容の評価の累積結果を通信接続した受講生側のそれぞれの端末機に送信することが可能となるので、当該通信接続した受講生に対して、複数の添削内容を確認させることが可能になる上、他の受講生もが認める最も良い添削結果を確認させるサーバ機を提供することが可能となる。

【0013】第3の発明は、第2の発明に係るサーバ機であって、前記制御部は、受信した前記所定の設問の回答に関する情報、又は受信した前記回答に対する添削に関する情報の各々に対する内容の評価に関する情報のデータを、通信接続された前記複数の受講生側のそれぞれの端末機から受信させ、当該受信させた内容の評価の累積結果に関する情報のデータを、通信接続された前記受講生側のそれぞれの端末機の要求に応じて送信させることを特徴とする。

【0014】第3の発明によれば、複数の受講生側や添削者側の端末機の各々から、それぞれ気に入った回答内容又は添削内容を送信した端末機を指定する情報を受信させ、新たな設問の回答又は回答に対する添削についてこの指定された受講生側又は添削者側の端末機から情報を受信させるとともに、この受信した情報を上記複数の受講生側や添削者側の端末機の各々へ送信させることが可能となる。すなわち、各端末機の受講生や添削者に対して回答内容や添削内容を確認させた上で良いと思われる内容を提供した送信元の端末機から、新たな設問の回答や新たな回答に対する添削を上記受講生や添削者の要求に応じて各受講生や添削者の端末機へ送信させることが可能となり、各受講生や添削者の希望に添った情報を提供することが可能となる。

【0015】第4の発明は、第2の発明に係るサーバ機であって、前記制御部は、前記回答に関する情報又は前記添削に関する情報のうち、所望の情報の送信元である添削者側の端末機を指定した情報のデータを前記複数の受講生側のそれぞれの複数の端末機の各々から受信させ、新たな設問又は新たな回答に関する情報のデータを前記指定した添削者側の端末機へ送信させ、当該指定した添削者側の端末機から前記新たな設問の回答又は前記新たな回答に対する添削に関する情報のデータを受信させ、当該受信した情報のデータを前記複数の受講生側のそれぞれの端末機の要求に応じて当該要求した受講生側

の端末機へ送信させることを特徴とする。

【0016】第4の発明によれば、受講生に対してそのときどきに必要とする情報のデータ、とりわけ添削者の指定により受講生の希望に極力見合った必要とする情報のデータを選択的に提供することが可能となる。

【0017】第5の発明は、インターネットを使用して所定の設問に対して回答をした答案について添削をして返却するインターネット答案練習会を行うにあたって、答案の添削を望む複数の受講生と複数の添削者との間を媒介するサーバ機を用い、複数の受講生側および添削者側の端末機の各々と個別に通信接続を行い、該複数の受講生側および添削者側の端末機のうち通信接続された受講生側および添削者側の端末機の表示画面に所定の情報を表示させるサーバ機の情報表示方法であって、通信接続された前記受講生側の端末機の表示画面に、所定の設問に関する情報を表示させ、該所定の設問の回答を入力すること、及びこの入力した回答をサーバ機に送信することを、順に又は同時に当該通信接続された端末機の利用者に促す情報を表示させる第1のステップと、通信接続された各前記複数の添削者側の端末機の表示画面に、前記所定の設問の回答に関する情報を表示させ、前記回答に対する添削を入力すること、及びこの入力した添削をサーバ機に送信することを、順に又は同時に当該各複数の端末機の利用者に促す情報を表示させる第2のステップと、通信接続された各前記複数の受講生側の端末機の表示画面に、前記所定の設問の回答に対する添削に関する情報を表示させる第3のステップとを備えたことを特徴とする。

【0018】第5の発明によれば、通信接続された受講生側の端末機の表示画面に、複数の添削者側の端末機から集められた所定の設問の回答に対する添削に関する情報を表示させることが可能となり、一つの回答に対する複数の異なった添削結果に関する情報を、所定の設問の回答を行った受講生に対してのみならず、通信接続した他の受講生に対しても各々の端末機の表示画面を通して確認させるサーバ機の情報表示方法を提供することが可能となる。

【0019】第6の発明は、第5の発明に係るサーバ機の情報表示方法であって、通信接続された各前記複数の受講生側の端末機の表示画面に、前記所定の設問の回答又は該回答に対する添削に対する内容の評価の入力を促す情報の表示を行う一方、通信接続された各前記複数の端末機の要求に応じて前記内容の評価の累積結果に関する情報を表示させることを特徴とする。

【0020】第6の発明によれば、一つの回答に対する複数の添削結果の各々における内容の評価に関する情報を通信接続した複数の受講生側の端末機から集め、通信接続された各複数の受講生側の端末機の要求に応じて上記集めた内容の評価の累積結果に関する情報を表示させることが可能となるので、当該要求した受講生に対し

て、複数の添削内容を確認させることが可能になる上、他の受講生もが認める最も良い添削結果を確認させるサーバ機の情報表示方法を提供することが可能となる。

【0021】第7の発明は、第5又は第6の発明に係るサーバ機の情報表示方法であって、通信接続された各前記複数の受講生側又は／及び添削者側の端末機の表示画面に、前記第1のステップ乃至第3のステップのうち、いずれのステップにおける情報の表示を希望とするかを、当該端末機の利用者に選択させる情報を表示させることを特徴とする。

【0022】第7の発明によれば、通信接続された各複数の端末機の表示画面に、所定の設問、該所定の設問の回答、該回答に対する添削のうち、ユーザーがそのときどきに必要とする情報の表示を選択して行わせることが可能となる。

【0023】第8の発明は、第5乃至第7の発明のいずれかに係るサーバ機の情報表示方法であって、通信接続された各前記複数の受講生側及び／または添削者側の端末機の表示画面に、前記回答に関する情報又は前記添削に関する情報のうち、所望の情報の送信元である端末機の指定を促す情報を表示させるステップと、新たな設問の回答又は新たな回答に対する添削に関する情報の入力を入力を促す情報を表示させるステップと、前記指定した端末機からの新たな設問の回答又は新たな回答に対する添削に関する情報の要求を促す情報を表示させるステップと、当該新たな設問の回答又は新たな回答に対する添削に関する情報を表示させるステップとを備えたことを特徴とする。

【0024】第8の発明によれば、複数の受講生側及び／または添削者側の端末機の各々に、それぞれ気に入った回答内容又は添削内容を提供した受講生側または添削者側の端末機を指定させ、この指定された端末機からの新たな設問の回答又は回答に対する添削についての情報を表示させることが可能となる。

【0025】第9の発明は、インターネットを使用して所定の設問に対して回答をした答案について添削をして返却するインターネット答案練習会を行うにあたって複数の端末機の各々と個別に通信接続し、答案の添削を望む複数の受講生と複数の添削者との間を媒介するサーバ機に着脱自在に設けられた外部記憶媒体であって、通信接続された複数の受講生側のそれぞれの端末機に所定の設問に関する情報のデータを送信させる一方、当該通信接続された複数の受講生側のそれぞれの端末機から受信した前記所定の設問の回答に関する情報のデータを通信接続された複数の添削者側のそれぞれの端末機に送信させることが可能であり、当該通信接続された複数の添削者側のそれぞれの端末機から受信した前記回答に対する添削に関する情報のデータを通信接続された前記複数の受講生側のそれぞれの端末機に送信させるプログラムを格納したことを特徴とする。

【0026】第9の発明によれば、複数の端末機から幅広く集めた所定の設問の回答に対する添削に関する情報のデータを、通信接続した受講生側のそれぞれの端末機に送信することが可能となるので、一つの回答に対する複数の異なった添削結果を、所定の設問の回答を行った受講生に対してのみならず、通信接続した他の受講生に対しても各々の端末機を通して確認させる外部記憶媒体を提供することが可能となる。

【0027】上記所定の設問は、その内容について限定されるものでないが、回答者に対して自身が独自に回答を制作することを要求するものであり、択一式のような形式ではなく、論文や作文などの創作力を必要とするものが好ましい。

【0028】本発明におけるサーバ機と端末機との通信接続は、電波などを用いた無線や、電話回線などの有線を介して構成される。

【0029】本発明における端末機は、ラップトップ型やデスクトップ型の種々のパソコン機、携帯電話機、家庭用や携帯用ゲーム機などの様々な電子機器を適用可能である。

【0030】

【発明の実施の形態】次に、本実施の形態について図を参照しつつ説明するが、本発明はこれに限定されるものでない。

【0031】本実施形態では、専門学校側が管理するサーバ機1と、専門学校の情報を必要とする受講生や添削者などが所有する端末機2としてデスクトップ型のパソコン機との通信接続により専門学校側が提供する弁理士試験に関する設問やその回答、あるいは回答に対する添削内容に関する情報のデータを、受講生側の所有する端末機へ送信しその表示画面で表示させ、さらに、受講生側から提供された情報に対する回答や添削、回答内容や添削内容に対する評価に関する情報のデータを専門学校側のサーバ機1へ送信するといった例を用いて情報の送受信のやりとりについて説明する。受講生側は、端末機2を用いて専門学校側が提供する情報のうち必要な情報を選択してその表示画面に表示させるのである。

【0032】図1は、本実施形態におけるサーバ機1と端末機2とを用いた通信構成を説明するための説明図である。

【0033】サーバ機1は、インターネット回線3及び電話回線4を介して複数の端末機2に接続されており、各ユーザーが端末機2を用いて所定の方法によりサーバ機1に通信接続することにより情報のデータの送受信を行う。

【0034】図2は、本実施形態におけるサーバ機の機能を示す機能ブロック図である。

【0035】本実施形態のサーバ機1は、複数の端末機との個別の通信接続が可能であり、通信接続された受講生側又は添削者側の端末機2にその表示画面に表示させ

る所定の情報に関するデータを送信するものであって、次の機能を有する。

【0036】サーバ機1は、端末機2に対する情報のデータの出入口となる送受信部5と、送受信部5を介して端末機2との情報のデータの送受信を行わせる制御部6としてのCPUとを備えている。制御部6は、通信接続された端末機2に所定の設問に関する情報のデータを送信させる一方、当該通信接続された端末機から所定の設問の回答に関する情報のデータを受信させることが可能である。また、制御部6は、複数の端末機2a、2b、2c、2d、・・・のうち、通信接続された端末機2に所定の設問の回答に関する情報のデータを送信させる一方、当該通信接続された端末機2から回答に対する添削に関する情報のデータを受信させることも可能である。尚、複数の端末機2と同時に通信接続し、各端末機2と情報のデータの送受信を個別に行わせることも可能である。さらに、制御部6は、通信接続された各端末機2からの要求に応じて、所定の設問の回答に対する添削に関する情報を送信させることも可能である。

【0037】また、制御部6は、端末機2から受信した所定の設問の回答に関する情報、又は回答に対する添削に関する情報の各々に対する内容の評価に関する情報のデータを、通信接続された複数の端末機から個別に受信させる一方、当該受信させた内容の評価について一時記憶手段7としてのRAMに記憶させることも可能である。一時記憶手段7では、制御部6により受信される内容の評価に関する情報のデータを順次蓄積するように記憶する。そして、制御部6は、一時記憶手段7で記憶された上記内容の評価の累積結果に関する情報のデータを、通信接続された端末機の要求に応じて送信させることも可能である。

【0038】すなわち、サーバ機1は、通信接続された複数の受講生側のそれぞれの端末機2に向かって所定の設問に関する情報のデータをそれぞれ送信させる設問一括送信能と、複数の受講生側のそれぞれの端末機2から発信された所定の設問の回答に関する情報のデータを受信する回答一括受信能とを備える一方、通信接続された複数の添削者側のそれぞれの端末機2に所定の設問の回答に関する情報のデータを送信させる回答一括送信能と、受講生に指定された添削者に対して選択的に回答を送信する添削者別・回答個別送信能とを備えている。

【0039】また、サーバ機1は、各複数の端末機から受信される様々な情報のデータに関して独自に統計をとったり、データの整理を行ったり、あるいはメンテナンスを行ったりするために、サーバ機1の管理者がデータ処理入力を行うための入力手段8としてのキーボードと、データ処理を行う際に管理者へ情報内容を表示させる表示部9としてのLCD装置と、所定のタイミングで音や音声を発生させる音再生部10としてのスピーカ装置と、制御部6によりデータ処理を実行させるプログラ

ムなどが記憶された記憶手段11としてのROMとを備える。また、サーバ機1には、本実施形態における端末機2との情報のデータにおける送受信のやりとりに関するプログラムを格納した外部記憶媒体12としてのMOを着脱自在に接続可能な記憶媒体読取装置13としてのMODドライブを備える。

【0040】本実施形態では、一時記憶手段7をサーバ機1の内部に設けているが、これに限定されるものでなく、図3に本実施形態におけるサーバ機の変形例であり、一時記憶手段をサーバ機1の外部に別途設けた場合の通信構成を説明するための説明図を示すように、サーバ機1とは別に情報のデータを記憶させる一時記憶サーバ機1aを設け、制御部6により端末機2との情報のデータの送受信を行わせる際に一時記憶サーバ機と接続し、蓄積記憶された情報のデータのうち必要な情報のデータを送信させたり、端末機2から受信した情報のデータを記憶させたりすることも可能である。

【0041】また、上記外部記憶媒体12についての詳細を簡単に説明する。外部記憶媒体12は、通信接続された受講生の端末機2に所定の設問に関する情報のデータを送信させる一方、当該通信接続された各複数の受講生の端末機2から受信した所定の設問の回答に関する情報のデータを通信接続された複数の添削者の端末機2に送信させるプログラムが格納されている。一方、外部記憶媒体12は、通信接続された各複数の端末機から受信した回答に対する添削に関する情報のデータを、通信接続された各複数の端末機2に送信させるプログラムを格納している。

【0042】本実施形態では、外部記憶媒体12に所定のプログラムを格納しサーバ機1に接続しているが、外部記憶媒体を用いずに、サーバ機1の記憶手段11に予め上記所定のプログラムを記憶させることも可能である。

【0043】次に、本実施形態における端末機2としてのデスクトップ型パソコン機の機能について簡単に説明する。図4は、本実施形態における端末機としてのパソコン機の機能を示す機能ブロック図である。端末機2は、サーバ機1からの情報のデータを送受信する送受信部21と、この送受信部21を介して端末機2との情報データの送受信を実行させる制御部22としてのCPUとを備える。また、端末機2は、様々なアプリケーションソフトを読み込み制御部の命令のもと実行させるプログラムが記憶された記憶部23としてのROMと、サーバ機1から受信する情報のデータを記憶する一時記憶部24としてのRAMと、受信した情報のデータを情報として表示させる表示部25としてのLCD装置と、所定の音や音声を所定のプログラムに基づき再生する音再生部26と、端末機2のユーザーが入力操作を行う入力部27としてのキーボードとを備える。また、端末機2は、様々なプログラムデータや音や画像などのデータが

格納されたフロッピー（登録商標）ディスクやCD-ROM、DVD-ROMなどの外部記憶媒体28を着脱自在に接続させる記憶媒体読取装置29が備えられている。外部記憶媒体28としては、サーバ機1から受信される情報のデータなどをその都度行わずに高速にデータ処理を行わせることを目的とし、所定のプログラムデータや画像データなどが格納されたものを用いることも可能である。

【0044】また、表示部25は、端末機2から受信された情報のデータや記憶部23、一時記憶部24などに記憶された情報のデータのうち画像に関するデータをもとに表示画面25aに画像を表示させる表示駆動回路25bを備える。音再生部26においても、音に関するデータをもとにスピーカ26aを介して音や音声を再生させる音再生回路26bを備える。

【0045】本実施形態では、端末機2としてデスクトップ型パソコン機を用いたが、これに限定されず様々な通信可能な電子機器を用いることが可能であり、例えば、ラップトップ型パソコン機、携帯電話機、通信可能な電子手帳、家庭用ゲーム機や携帯用ゲーム機など幅広く用いることが可能である。

【0046】次に、本実施形態におけるサーバ機1と各端末機2との通信接続による情報のデータの送受信について、具体的な情報の例をとり説明する。図5及び図6は、本実施形態において、サーバ機1のデータの送受信と端末機2の表示画面25aに表示される内容とを時系列的に並べ説明するフローチャート図である。また、図7乃至図18は、端末機2の表示画面25aに表示される情報を具体的に説明するための説明図である。

【0047】まず、受講生が自身の端末機2を用いて、インターネット回線3及び電話回線4を介してサーバ機1に通信接続を行う。サーバ機1は、端末機2からの通信接続を受けて、所定の設問、設問の回答、回答に対する添削のいずれの内容を希望するかを選択させる情報のデータを端末機2へ送信し、これを端末機2の表示画面25aに表示させる。図7に示すように、表示画面25aには受講生にa) 設問、b) 回答、c) 添削のどの情報のデータを入手したいかを選択させ、これを入力しサーバ機1側へ送信するように促す情報が表示される。

【0048】次に、受講生が設問の入手を要求したときについて説明する。サーバ機1では、所定の設問に関する情報のデータを送信する。設問の内容については、サーバ機1側において、管理者が入力手段8を用いて入力操作することにより一時記憶手段7にデータを記憶させたり、外部記憶媒体12に格納されたデータなどにより適宜変更や追加が可能となっている。そして、端末機2の表示画面25aでは、図8に示すように、所定の設問に関する情報が表示される。受講生はこの設問を確認し、入力部27を入力操作すると、さらに、表示画面25aには図9に示すように所定の設問の回答をある条件

のもと入力することを促す表示が行われる。受講生はこの条件に沿って回答を考え入力部27を操作することにより設問の回答を作成する。次いで、表示画面25aには図10に示すように入力した回答をサーバ機1に送信することを促す表示が行われる。受講生は、自身が作成した回答を再度確認した後に、表示画面25aに表示される「送信」部分をクリックすることにより、設問の回答に関する情報のデータをサーバ機1に送信する。そして、サーバ機1では所定の設問の回答に関する情報を受信し、これを一時記憶手段7に記憶させる。このような情報のデータの送受信は、他の複数の受講生の端末機2との間にも行われ、サーバ機1の一時記憶手段7には、一つの設問に対する複数種類の回答を順次蓄積して記憶することとなる(第1のステップ)。

【0049】次に、添削者が設問の回答の入手を要求したときについて説明する。

【0050】サーバ機1では、設問の回答に関する情報のデータを送信する。端末機2の表示画面25aでは、所定の設問の回答に関する複数種類の情報が表示される。添削者は、入力部27を用いて画面をスクロールさせるなどして各回答の内容を確認することが可能である。そして、表示画面25aでは、図12に示すように回答に対する添削を入力することを添削者に対して促す情報の表示が行われる。添削者の中には受講生以外に多くの知識者や実務家も存在し、この実務家にとって回答に対する添削を行うことにより所定の収入を取ろうとする者もあり、また、添削者が受講生の場合であっても、他人の回答に対する添削を行うことにより、自身の考える回答内容や添削能力を確認することを所望する場合がある。そして、添削を行うことを希望する者は添削する回答内容を指定し、表示画面25aに表示された「添削する」をクリックし、添削を希望しない者は表示画面25aに表示された「添削しない」をクリックする。「添削する」が選択された場合には、表示画面25aに回答の内容が一行間隔で表示され、添削者は図13に示すように各行の間にユーザーが考えた添削内容を入力部27を用いて入力する。そして、添削の作成が終了した後は、表示画面25aでは図14に示すような入力した添削をサーバ機1に送信することを促す情報の表示が行われる。添削者は、自身の作成した添削内容を再度確認して表示画面25aに表示される「送信」の部分ををクリックする。このようにして、サーバ機1では回答に対する添削に関する情報のデータを受信し、これを一時記憶手段7に蓄積するように記憶させる(第2のステップ)。また、端末機2の表示画面25aでは、添削に関する情報のデータをサーバ機1に送信する際に、所定の設問の回答内容の評価の入力を促す情報が表示される。図15に示すように、表示画面25aでは、回答の内容は評価a~bのどれかを選択しこれをサーバ機1に送信することを促す情報の表示が行われる。受講生が評価に関する情

報の送信を行うと、サーバ機1ではこれを一時記憶手段7に記憶させる。このように、サーバ機1では、複数の回答の各々に対する添削に関する情報、及び各回答の評価に関する情報を、複数の受講生から各端末機2を介して集め、一時記憶手段7に蓄積するように記憶させることが可能となるのである。

【0051】次に、受講生が回答に対する添削内容の入手を要求したときについて説明する。サーバ機1は、回答に対する添削の情報のデータを端末機2に送信する。端末機2の表示画面25aでは、図16に示すように添削に関する情報を表示させる(第3のステップ)。添削の表示が行われるにあたっては、表示画面25aではどのような設問の回答に対する添削内容を表示させたいか選択を促す情報の表示が行われる。そして、表示画面25aでは図17に示すように添削内容がどの程度の評価であるかを選択してこれを入力するように受講生に促す情報を表示させる。受講生は表示画面25aにおける「送信」部分をクリックすることにより、サーバ機1へ添削の評価に関する情報を送信する。これを受けて、サーバ機1は添削の評価に関する情報を受信し、一時記憶手段7に蓄積記憶させる。このように、サーバ機1では、複数の設問の回答に対する添削の評価に関する情報を複数の受講生から端末機2を介して集めることが可能となるので、図18に示すような回答に対する添削の評価についてのグラフなどを、受講生の希望により端末機2を介してサーバ機1に要求することに応じて、回答に対する添削の評価がどのような状況であるかを客観的に確認することが可能となる。

【0052】また、本発明においては、各端末機の所有者に対して、回答内容や添削内容を確認させた上で良いと思われる内容を提供した送信元の端末機を指定させ、新たな設問の回答や新たな回答に対する添削を要求に応じて送信させることが可能である。以下に、図19乃至図22を参照しつつ詳細について説明する。尚、サーバ機、各端末機の機能については、上記実施の形態で示すものとほぼ同じ機能を有することとする。

【0053】まず、サーバ機に通信接続したある端末機の表示画面に、所定の設問の回答に対する添削内容に関する複数の情報を表示させ、次いで、回答に対する添削に関する情報のうち、所望の情報の送信元である端末機の指定を促す情報を表示させる(図19参照)。これを受けて、受講生は端末機の入力部を用いて最も良いと思われる添削内容の送信元の端末機を指定する。この実施形態では端末機を指定しているが、添削内容を指定しサーバ機側で指定された添削内容の送信元の端末機を割り出すことも可能である。さらに、端末機の表示画面には、新たな設問の回答に関する情報の入力を促す情報が表示される(図20参照)。これを受けて、受講生は、端末機の入力部を用いて新たな設問の回答に関する情報を入力し、これをサーバ機へ送信する。本実施形態で

は、端末機を指定した後に、新たな設問の回答を入力しているが、これに限定されるものでなく、先に設問の回答を入力した後に、端末機を指定することも可能であり、また、サーバ機側が予め用意した設問の回答を端末機の表示画面に表示させこのうち所望の設問の回答を選択することを促す情報を表示させ、受講生が入力部を用いて所望の端末機を選択入力することも可能である。

【0054】そして、サーバ機では、指定された端末機に対して上記送信された新たな設問の回答に関する情報を送信する。尚、各端末機には、個別のIDコードが割り振られており、受講生の入力に応じて指定された添削者の端末機のIDコードが割り出され、情報の送信先が自動的に判明される。新たな設問の回答に関する情報のデータをサーバ機から受信した端末機では、その所有者である添削者が、試行錯誤の上添削内容を完成させ、これに関する情報のデータをサーバ機に送信する。サーバ機では、これを受信し一旦一時記憶手段に記憶しておく。

【0055】さらに、受講生は所望のときに、サーバ機に通信接続し、所定の入力操作を行うと、端末機の表示画面には、指定した端末機からの新たな設問の回答又は新たな回答に対する添削に関する情報の要求を促す情報が表示される(図21参照)。これを受けて、受講生は入力部を用いて指定した端末機からの新たな設問の回答又は新たな回答に対する添削に関する情報を要求する情報の入力を行い、これをサーバ機へ送信する。すると、サーバ機では、この送信を受けて、一時記憶手段に記憶しておいた指定した端末機からの新たな設問の回答又は新たな回答に対する添削に関する情報のデータを端末機へ送信する。そして、端末機の表示画面では、当該新たな設問の回答又は新たな回答に対する添削に関する情報を表示させるのである(図22参照)。

【0056】このように、受講生はサーバ機から提供される複数の回答に対する添削の中から自分自身が良いと思われる添削の作成者を選び、この添削の作成者に別の新たな回答の添削を依頼することが可能となり、サーバ機側から一方的に提供される情報ばかりみている受身のみでなく、自分自身が添削者を指定でき、以後の添削を依頼するという能動的に自分の好みに合った情報を入手することが可能となり非常に便利である。

【0057】上記実施形態では、回答に対する添削に関する情報を例にとり説明したが、これに限定されるものでなく、設問の回答に関する情報についても同様に適用可能である。

【0058】また、サーバ機では、設問の回答に対する添削者の情報のデータについて、複数の端末機に送信することが可能である。上記情報のデータとしては、指定される回数や設問内容などである。この情報を他の端末機の受講生が見ることにより、客観的にどの添削者の人気があるかを確認できる。

【0059】さらに、サーバ機では、設問の回答に対する添削者の所有する端末機に対して、受講生からの指定回数に応じた特典に関する情報のデータを送信することも可能である。この特典に関する情報のデータとしては、上記指定回数に応じた報酬金の情報や、設問の回答に対する添削を定期的に依頼する内容など、様々な情報が含まれている。

【0060】

【発明の効果】本発明によれば、受講生側の端末機から受信した所定の設問の回答に対する添削に関する情報のデータを複数の添削者側の端末機から幅広く受信し、これを通信接続された各受講生の端末機に送信しこの添削に関する情報を複数種類もしくは選択的に提供することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本実施形態におけるサーバ機1と端末機2とを用いた通信構成を説明するための説明図である。

【図2】 本実施形態におけるサーバ機の機能を示す機能ブロック図である。

【図3】 本実施形態におけるサーバ機の変形例であり、一時記憶手段をサーバ機の外部に別途設けた場合の通信構成を説明するための説明図である。

【図4】 本実施形態における端末機としてのパソコン機の機能を示す機能ブロック図である。

【図5】 本実施形態において、サーバ機のデータの送受信と、端末機の表示画面に表示される内容を時経列に説明するフローチャートである。

【図6】 本実施形態において、サーバ機のデータの送受信と、端末機の表示画面に表示される内容を時経列に説明するフローチャートである。

【図7】 設問、回答及び添削に関する情報のうちどれを選択するかを促す情報を表示する端末機の表示画面内容を説明するための説明図である。

【図8】 ステップ1において、設問の内容に関する情報を表示する端末機の表示画面内容を説明するための説明図である。

【図9】 ステップ1において、設問の回答を促す情報を表示する端末機の表示画面内容を説明するための説明図である。

【図10】 ステップ1において、設問の回答の送信を促す情報を表示する端末機の表示画面内容を説明するための説明図である。

【図11】 ステップ2において、回答の内容に関する情報を表示する端末機の表示画面内容を説明するための説明図である。

【図12】 ステップ2において、回答に対する添削するか添削しないかどちらかの選択を促す情報を表示する端末機の表示画面内容を説明するための説明図である。

【図13】 ステップ2において、添削を作成している状態の端末機の表示画面内容を説明するための説明図である。

ある。

【図14】 ステップ2において、添削に関する情報をサーバ機に送信することを促す情報を表示する端末機の表示画面内容を説明するための説明図である。

【図15】 ステップ2において、回答の内容の評価を促す情報を表示する端末機の表示画面内容を説明するための説明図である。

【図16】 ステップ3において、添削内容に関する情報を表示する端末機の表示画面内容を説明するための説明図である。

【図17】 ステップ3において、添削内容の評価を促す情報を表示する端末機の表示画面内容を説明するための説明図である。

【図18】 本実施形態において、回答に対する添削内容の評価に関する情報を端末機の表示画面に表示させている状態を説明する説明図である。

【図19】 本実施形態において、所望の情報の送信元である端末機の指定を促す情報を端末機の表示画面に表示させている状態を説明する説明図である。

【図20】 本実施形態において、新たな設問の回答又は新たな回答に対する添削に関する情報の入力を促す情報を端末機の表示画面に表示させている状態を説明する説明図である。

【図21】 本実施形態において、指定した端末機からの新たな設問の回答又は新たな回答に対する添削に関する情報の要求を促す情報を端末機の表示画面に表示させている状態を説明する説明図である。

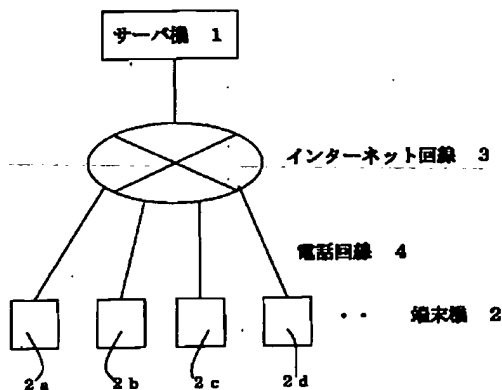
【図22】 本実施形態において、新たな設問の回答又は新たな回答に対する添削に関する情報を端末機の表示

画面に表示させている状態を説明する説明図である。

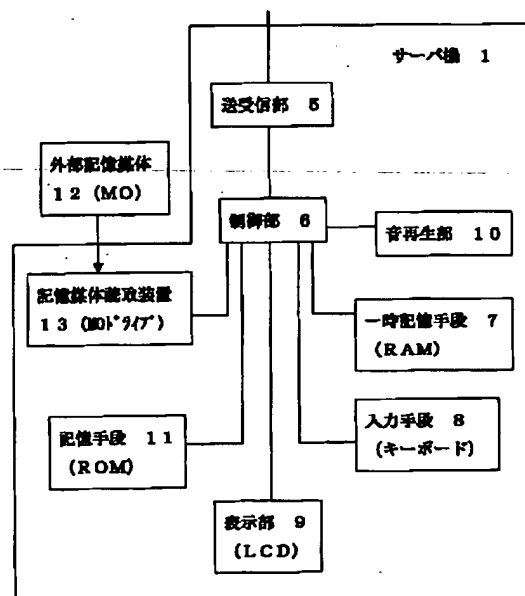
【符号の説明】

- 1 サーバ機
- 1 a 一時記憶サーバ機
- 2 端末機
- 3 インターネット回線
- 4 電話回線
- 5 送受信部
- 6 制御部
- 10 一時記憶手段
- 8 入力手段
- 9 表示部
- 10 音再生部
- 11 記憶手段
- 12 外部記憶媒体
- 13 記憶媒体読取装置
- 21 送受信部
- 22 制御部
- 23 記憶部
- 24 一時記憶部
- 25 表示部
- 25 a 表示画面
- 25 b 表示駆動回路
- 26 音再生部
- 26 a スピーカ
- 26 b 音再生回路
- 27 入力部
- 28 外部記憶媒体
- 29 記憶媒体読取装置 a

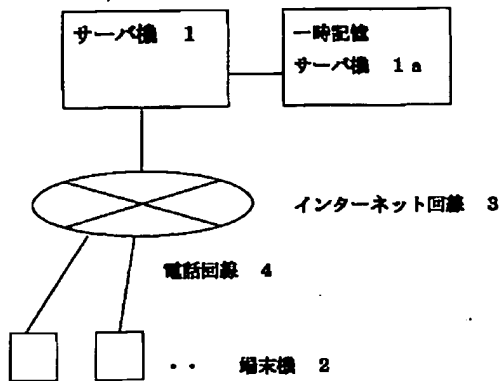
【図1】



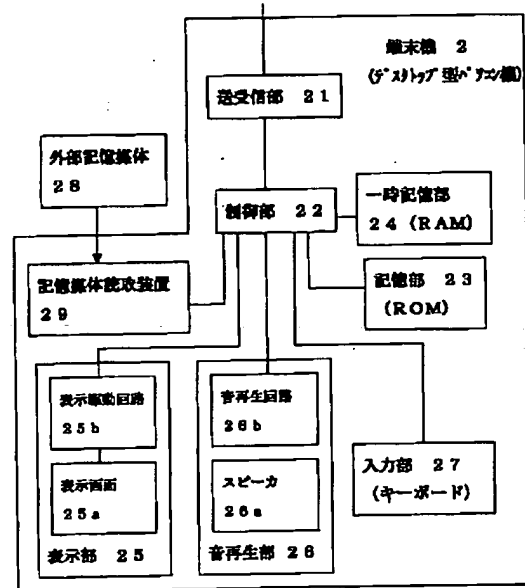
【図2】



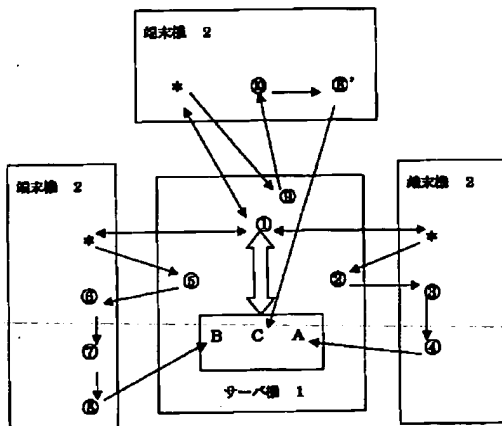
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

①	端末機からの通信接続を受ける
②	所定の設問に関する情報のデータを送信する
③	所定の設問に関する情報を表示させる
④	所定の設問の回答を入力すること、入力した回答をサーバ機に送信すること、を促す情報を表示させる
⑤	所定の設問の回答に関する情報のデータを送信する
⑥	所定の設問の回答に関する情報を表示させる
⑦	回答に対する添削を入力すること、入力した添削をサーバ機に送信すること、を促す情報を表示させる
⑧	所定の設問の回答内容の評価の入力を促す情報を表示させる
⑧'	添削内容の評価の入力を促す情報を表示させる
⑨	回答に対する添削の情報のデータを送信する
⑩	添削に関する情報を表示させる
*	所定の設問、設問の回答、回答に対する添削のいずれを必要とするかを選択させる情報を表示させる
A	所定の設問の回答に関する情報のデータを受信する
B	回答に対する添削に関する情報のデータを受信する (回答内容の評価の情報のデータを受信する)
C	添削内容の評価の情報のデータを受信する

【図7】

000のホームページ

Q. どの内容を必要としますか?

a) 設問
b) 回答
c) 添削

【図8】

設問1

① 特許法29条について述べなさい
② 新規性喪失例外の適用について述べなさい

【図9】

設問1の回答を4頁以内に記入して下さい

【図10】

設問1の回答を4頁以内に記入して下さい

送信 OKでしたら送信を打って下さい

【図11】

回答例1
特許法29条は、.....

回答例2
特許法29条については.....

【図12】

あなたの添削する回答は、回答例1です

回答例1に対する添削を行いますか?

添削する 添削しない

【図13】

審判して下さい

特許法29条は.....

.....

.....

公知・公用

.....

【図14】

第2項

送信 送信をリッパして下さい

【図15】

回答1の内容はどの程度の評価ですか？

a) 評価A

b) 評価B

c) 評価C

送信

【図16】

設問 → 特許法29条について述べよ

回答 → 回答例1

特許法29条は.....

.....

公知・公用

.....

【図17】

審判の内容は、どの程度の評価ですか？

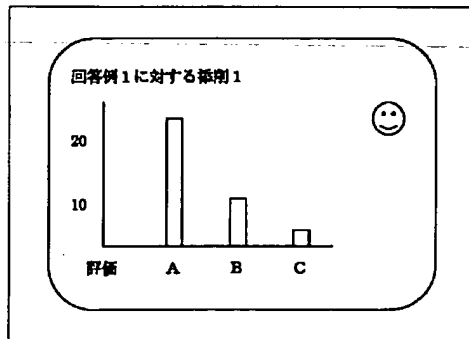
a) 評価A

b) 評価B

c) 評価C

送信

【図18】



【図19】

審査してほしい審査者はどなたですか？

a) Aさん
b) Bさん
c) Cさん

送信

【図20】

審査してほしい設問の回答を4頁以内に記入して下さい

【図21】

000のホームページ

Q. Aさんからの審査が届いています。
審査内容を確認しますか？

YES NO

【図22】

~Aさんの審査内容~ ☆ ☆

設問 → 特許法28条について述べよ
回答 → 回答例1

特許法28条は・・・

公知・公用

フロントページの続き

(72)発明者 平山 太郎
東京都新宿区下落合1丁目6番9号 株式
会社東京リーガルマインド内

Fターム(参考) 2C028 BB04 BB05 BC01 BC02 BD02
BD03 CA13 DA04

Freeform Search

Database:

US Pre-Grant Publication Full-Text Database
 US Patents Full-Text Database
 US OCR Full-Text Database
 EPO Abstracts Database
 JPO Abstracts Database
 Derwent World Patents Index
 IBM Technical Disclosure Bulletins

Term:

(device or printer or fax or facsimile or
 terminal or workstation or computer) near4
 (server or gateway)near7 (diagnos\$6 or problem or

Display: Documents in Display Format: Starting with Number Generate: ☐ Hit List ☒ Hit Count ☐ Side by Side ☐ Image

Search

Clear

Interrupt

Search History

DATE: Tuesday, December 21, 2004 [Printable Copy](#) [Create Case](#)

<u>Set</u> <u>Name</u>	<u>Query</u>	<u>Hit</u> <u>Count</u>	<u>Set</u> <u>Name</u> result set
side by side	DB=PGPB,USPT,USOC,EPAB,JPAB; PLUR=YES; OP=OR (device or printer or fax or facsimile or terminal or workstation or computer) near4 (server or gateway)near7 (diagnos\$6 or problem or error or correct\$4) and @ad<20010530 and (diagnos\$6 or problem or error or correct\$4) near4 (categor\$5 or type or signif\$7 or class or rank or position or importan\$4) (device or printer or fax or facsimile or terminal or workstation or computer) near4 (server or gateway) with (diagnos\$6 or problem or error or correct\$4) and @ad<20010530	305	L2
L1		4044	L1

END OF SEARCH HISTORY